

2024
全国農業高校
お米甲子園

全国農業高校 お米甲子園 2024 ノミネート校一覧



f 🔍 お米甲子園

鳥取県立倉吉農業高等学校
食品科・3 学年

鳥取県倉吉市
ゆうだい 21



祝、10 年連続「お米甲子園」入賞！
本校、食品科・流通コースでは、お米の栽培（種まきから収穫）から調整作業、商品作成から販売までの一連の流れを、全て行っています。

消費者さんに安全・美味しいお米を届けるために奮闘中。

宮城県本吉響高等学校
総合学科・3 学年

宮城県気仙沼市
ミルキークイーン



前年同様の猛暑が続いたため、熱中症予防対策をしながら実習を行いました。やはり暑さの影響により実習が思うように進みませんでした。

栽培面でも高温が予想されていたため暑さにも対応できる丈夫な米作りを目指し一つ一つ丁寧に手植えを行い、落水期までは徹底した水管理に気を配りました。

高温障害による胴割米や白未熟米が出ないように水は最小限に抑えながら良質な米ができるように実習に取り組みました。

栃木県立矢板高等学校
農業経営科・3 学年

栃木県矢板市
縁結び



今年は、苗づくりの段階からいかに草丈を抑えて茎を丈夫にし、倒伏防止をしつつも粒を大きく栽培できるか、生育調査をしながら見てきました。育苗管理においては、灌水は乾いてから行うようにしました。移植後は間断灌水を収穫まで続けました。

昨年より美味しい米を作るために地域の農家さんや関連機関と連携しアドバイスをいただきながら管理をおこないました。

群馬県立安中総合学園高等学校
生物資源系列・3 年

群馬県安中市
縁結び



本校水田では毎年品種を変え、試行錯誤しながらお米作りをし、10 年間で7 品種のうるち米を作ってきました。

今年、縁結びは初挑戦でした。本校では地域の小学生や農家さんと交流活動を盛んに行っており、様々な「ご縁」があり成り立っています。

「縁結び」は私たち水田班の活動そのままだと思います。私たちの活動が安中地域の活性化に繋がれば嬉しいです。これからも安総水田班は地域とともに美味しいお米作りに米進していきます。

福井県立福井農林高等学校
生物生産科・3 年作物部

福井県福井市
あきさかり



私たちの学校では、クリムソクローバを利用して福井県特別栽培農産物の認証を受けて、安全・安心な米づくりを続けてきました。毎年5 月には真っ赤なクリムソクローバの花が咲きとてもきれいです。

3 年前からアイガモ農法も取り入れ、除草剤を使わない栽培をしています。アイガモが思うように働いてくれないと、除草機を押し、真夏の暑い中でのヒエ取りが大変でしたが、今年も美味しいお米ができました。

宮城県小牛田農林高等学校
農業技術科・3 学年

宮城県美里町
ミルキークイーン



本校では、うるち米5 品種ともち米を合わせて6 品種作付しており、畜産部門の堆きゅう肥と精米後の米ぬかを混ぜ元肥として活用しています。作物専攻班は3 年生になると一人一区画（約20 a）の圃場管理を担当します。4 月の播種作業・苗の育苗から始まり、田植え作業から9 月の収穫作業まで自ら機械操作に携わり、一貫して行います。生徒自ら責任を持ち一生懸命、美味しい米作りを目指して学習に取り組んでおります。

長野県丸子修学館高等学校
総合学科

長野県上田市
コシヒカリ



私たち2 年生は、専門科目を学ぶのが今年度からのため、お米栽培ははじめてになります。田植えから収穫まで、一つひとつの作業を丁寧に、日本の食文化であるお米の大切さを学びました。今年も夏の猛暑が予想されており、高温障害等の心配もあったことから、田植えと収穫の時期を選定し、水管理にも細心の注意を払いました。こうして育てたお米は、粒がそろっていてつやがあります。丹精込めて作ったお米を味わってください。

山梨県立農林高等学校
全学科・1 年生

山梨県甲斐市
コシヒカリ



本校は甲府空襲で校舎が焼失し、戦後、現在の甲斐市に移転しました。移転地は旧陸軍玉幡飛行場跡地と釜無川の氾濫でできた河原で、昭和24 年に大石を除いた砂れきの水田ができ、石で苗を支えて植えたそうです。また、水路が無い為、校内に井戸を掘り地下水の米作りを始めました。

令和元年、J G A P 認証を取得しました。伝統の米づくりは現在も続いており、米づくりは日本の基盤である為、全学科の1 年生が栽培して学習しています。

京都府立綾部高等学校東分校
農業科作物専攻

京都府綾部市
にじのきらめき



綾部高校東分校には「由良川キャンパス」という愛称があります。その名のとおり校舎沿いには由良川が流れ、授業や部活動など日々の学習の場としても活用しており、稲作栽培にも豊かな由良川の水を使用しています。

今年も夏の猛暑をはじめ、様々な課題がありましたが、できる限りの対策をして、無事に収穫を迎えることができました。収穫した米は「綾高米」というブランド名で販売しており、地域の方々にも大人気のお米です。

富山県立入善高等学校
農業科・2 学年

富山県入善町
富富富



「富富富」は高温・倒伏・いもち病に強く、甘みや旨味が強い富山県のブランド米です。入善高校農業科では、稲作を行うための大型機械が多く導入されました。導入された、GPS 付きの田植機やコンバイン、ドローンなどの最新の機器を使って、自動操舵を経験したり収量データを蓄積して改善点を考えたりしながら稲作に取り組んできました。

次年度以降も最新機器の活用を学びながらさらに品質の良い米づくりを行っていききたいです。

新潟県立高田農業高等学校
生物資源科・3 年

新潟県上越市
コシヒカリ BL



新潟県立高田農業高等学校は、「コシヒカリ BL」「こしいぶき」「こがねもち」「越淡麗」の4 品種を栽培し、すべての品種で「GLOBALG.A.P. 認証」を取得しています。また、うるち米の2 品種では、「新潟県特別栽培農産物」の認証も取得しています。GLOBALG.A.P. 認証を取得している「コシヒカリ」は、昨年からシンガポールへ海外輸出をしています。

今後も本校の GLOBALG.A.P. 認証米の販路を拡大して、世界中に高農米の「おいしさ」を届けます！

愛媛県立大洲農業高等学校
生産科学科・3 年

愛媛県大洲市
にこまる



うまい！売れる米づくりは、土づくりから！をきっかけに、「土魂上白米プロジェクト」を掲げ、生産に取り組みました。土壌分析を実施し、分析結果に基づいた施肥計画を立案、実施しました。本校の位置する愛媛県大洲市は、イネの生育期間中高温期であるため、「温度耐性」に注目、愛媛県育種品種「ひめの凜」と西南暖地向け品種「にこまる」の栽培に毎年挑戦中。地域のみなさんをお米で元気にしたい！

滋賀県立湖南農業高等学校
農業科作物班

滋賀県草津市
きらみずき



私たち湖南農業高校農業科作物班では、自然環境に配慮した稲作栽培技術を学んでいます。今回エントリーした「きらみずき」は、今年度から本格的に栽培が始まった滋賀県で育成された新品種のお米です。本校では、化学肥料や殺虫・殺菌剤を使用しないで栽培しました。また、琵琶湖や環境保全学習の一環として、水田に琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」の稚魚を放流して、大きくなったフナを琵琶湖に帰す取り組みもしています。

山形県立置賜農業高等学校
作物部門

山形県川西町
つや姫

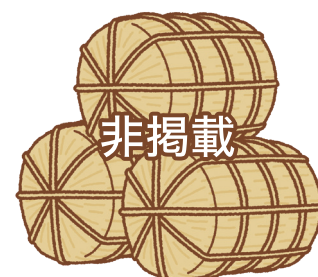


「山形県が誇るブランド米つや姫で最高金賞を獲る！」をテーマに、適期適作の徹底と肥料や水管理にこだわり、猛暑の中での草刈り作業など日々の実習に励みました。そのかいあって未熟粒が少なくきれいなお米を収穫できました。また、杭掛け・天日干しにより、じっくりとお米の旨味を凝縮しました。

田植えと稲刈りは、地域の方との農業体験活動「置農ファンクラブ」で行い、地域の方々とお米の思いが詰まった美味しいお米に仕上がりました。

岐阜県立飛騨高山高等学校
食品科学科・3 年

岐阜県高山市
ミルキークイーン



プレゼンテーション部門 ノミネート校一覧

富山県立中央農業高等学校
生物生産科作物科学コース作物専攻 2・3 学年



令和4 年度に先駆け導入したアイガモロボとドジョウの養殖の掛け合わせに、今年度は機械除草機を導入した結果、平成10 年度から継続している深水や米ぬか除草では防除困難であった水田雑草が大幅に防除でき、過去最高の反収7.5 俵を実現した。この取り組みは今年、とやま環境賞を受賞し、収穫した「どじょう米」は G7 教育大臣会合の昼食や ANA 料理教室の食材、富山の名産鱒寿司にも使用される等、多方面から注目されている。

宮城県農業高等学校
農業科 3 学年作物専攻班



お米甲子園プレゼンテーションに参加することを夢見て田植えや研究活動に励んできました。学校には先輩達が参加した過去の大会記録と共に笑顔の写真が飾られています。私達も先輩と同様に自分たちの活動が伝えられ、悔いの残らない発表にしたいと考えています。発表では元気さと、パワーポイントとの連携した発表をお楽しみ頂ければと思います。一生懸命に練習しますのでよろしくお願いします。

岡山県立瀬戸南高等学校
生物生産科 1・3 学年 Pioneer R.G.



皆さんこんにちは！瀬戸南高校お米研究チームの Pioneer R.G. です！私たちは江戸時代後期から伝わる「多数回中耕除草」という栽培技術の研究をしています。この多数回中耕除草には除草効果や増収効果があるといわれており、化学肥料・農薬を使わない栽培が可能となります。3 年間で中耕回数の違いによる生育の様子・収量の違いを検証し、また、費用・労働時間の面からも有効性を検証しています。

- 【主催】 米・食味鑑定士協会
「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」in 北杜 実行委員会
- 【後援】 amada 司法書士法人 山田合同事務所
- 【特別協賛】 全農 全国農業協同組合連合会

全国農業高校 お米甲子園オフィシャルスポンサー

Kubota

ISEKI

愛華

KITAMURA

株式会社 ミズホ

農文協